

平成25年度
ディスクロージャー資料

2014

NISHI-NIPPON CITY BANK



ココロがある。コタエがある。

西日本シティ銀行



目次

ごあいさつ 2

経営方針 3

平成25年度業績ハイライト

損益の状況(単体)5
自己資本比率の状況5
不良債権の状況(単体)6
貸出金の状況(単体)6
預金・預り資産の状況(単体)6

「New Stage 2014～汗をかこう～」トピックス 7

業務運営方針

コーポレート・ガバナンス22
法令等遵守態勢24
当行が契約している指定紛争解決機関26
リスク管理の体制27

主要な業務内容 30

組織・ネットワーク

役員31
組織32
店舗のご案内33

資料編

目次41
連結ベース43
単体ベース61
報酬等に関する開示事項122
開示項目一覧124



西日本シティ銀行本店

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する“九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行をめざします。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで広く信頼される銀行をめざします。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

会社概要

(平成26年3月31日現在)

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	198か店
従業員数	3,867名
総資産	7兆7,611億円
預金・譲渡性預金残高	6兆7,389億円
貸出金残高	5兆6,213億円



シンボルマークには、西日本シティ銀行がお客さま・株主・社会とともに成長し、喜びをわかちあい、地域に根ざした花を咲かせていくという願いを込めました。上部の花びらはそれぞれがステークホルダー(個人や法人のお客さま、株主、地域社会、行員など)を表し、下部の人間像はそれらを力強く支えていく西日本シティ銀行の姿勢と喜びを表現しています。また、全体をユニークで独自性の高いフリーハンドで図案化し、躍動感や人間的優しさを表現しています。コーポレートカラーは、あたたかい人間性や輝く太陽を表すオレンジと、洗練性や先進性を感じさせるブルーの2色を使用しています。

●本資料は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

●計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。



取締役会長
久保田勇夫



取締役頭取
谷川 浩道

ごあいさつ

皆さまには、平素より西日本シティ銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、弊行は、平成26年6月27日をもちまして、久保田勇夫が取締役会長に、谷川浩道が取締役頭取に就任し、新たな経営体制をスタートさせました。

また、弊行は、おかげさまで、この秋、創立10周年を迎えます。その間、平成20年にスタートした中期経営計画「New Stage 2008」やそれに続く「New Stage 2011～元気よく～」に取り組み、弊行が抱えていた諸課題も無事、克服することができました。これもひとえに皆さまのご支援とご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

さて、平成25年度のわが国経済を顧みますと、輸出環境の改善や政府による経済対策、日本銀行による金融緩和策等を背景に、景気は緩やかな持ち直し基調のもとでスタートいたしました。その後は、企業収益の改善や、消費税率引上げ前の駆け込み需要による個人消費の増加などにより、景気は緩やかな回復基調が続きました。また、当行の地元である九州の経済は、消費者マインドの改善や公共投資の増加に加え、雇用・所得環境の改善もあって、緩やかに回復いたしました。

このような経営環境のなか、平成25年度は中期経営計画「New Stage 2011～元気よく～」の最終年度として諸施策に取り組んだ結果、基本コンセプトとして掲げた「総合金融サービス業への進化と生産性の向上」に向けた各種の取組みをはじめとして、国際分野、法人ソリューション分野、個人ローン分野など、相当の成果を上げることができました。

本年4月からは、新たな3か年の中期経営計画「New Stage 2014 ～汗をかこう～」をスタートさせ、今まさに、さらなる成長へ向けて、弊行が本来有する潜在力を発揮する「新たなステージ」に立っています。

新しい経営体制のもと、役職員が一体となって、地元とともに発展する地域金融機関としてさらに前進し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年7月